

みんなでつくり
福祉コミュニティ
乙島をもっと知ろう

乙島っ子

編集発行
乙島小学校区コミュニティ協議会
乙島小学校区社会福祉協議会
広報部
倉敷市玉島乙島2228-1

乙島小学校区コミュニティ協議会 設立二十周年に寄せて

乙島小学校区コミュニティ協議会副会長 重政 満恵

平成から令和へと年号が変わり、乙島小学校区コミュニティ協議会は今年設立二十周年を迎えました。地域コミュニティとは同じ地域に住む者同士が地縁関係をもとに交流する社会を意味します。

振り返れば、盛大な「乙島祭り」で有名な土地柄でありながら「公民館」も「憩いの家」もなく、婦人会や愛育委員会の会議は、各町内の公会堂を持ち廻りで凌ぎながら活動していた二十年前です。

その頃乙島小学校が現在の地に新築移転するのを機に、旧校舎の一部を借り受け、給食場を料理教室に、プレハブ教室は修理して倉庫に、木造校舎を会議室に変えました。婦人部の諸行事や運動会も出来るようになりました。が、古い校舎のため痛みが激しく危険な状態に陥り、「なんとか公民館を」との思いが皆に募ってきました。

平成十年十月六日、乙島各種団体、各町内会会長、市議会議員で第一回設立準備会を持ち、以後十八回に及ぶ陳情を重ねました。そして市の補助金を受け、「コミュニティハウス」として平成十一年に完成を見る事ができました。この設立に当りご尽力頂いた諸先輩方、並びに乙島地区住民の方々のご理解・ご協力の賜物と感謝しております。

乙島には、他地区には無い伝統を守ってきた「乙島祭り」があり、地域交流の場が引き継がれています。しかし、少子高齢化が進み小

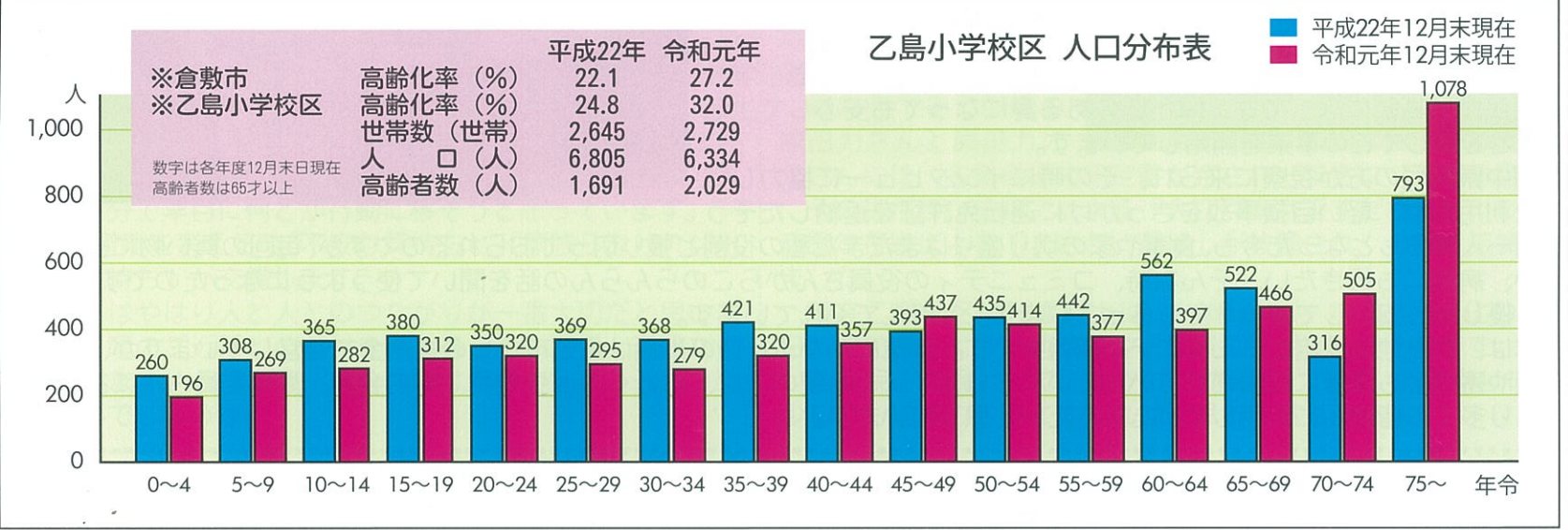
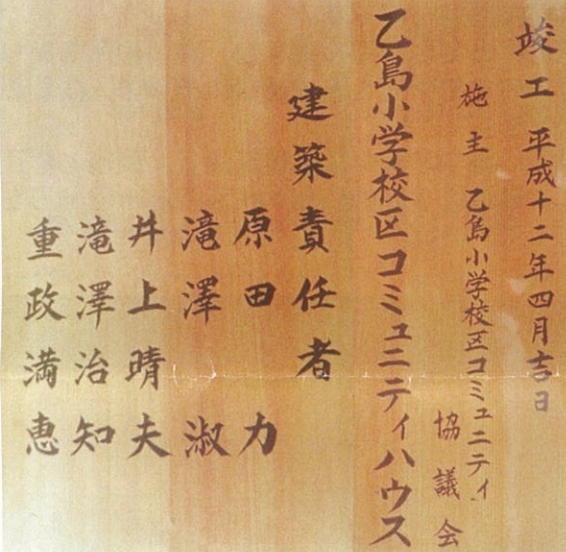
学生が一人もいない町内、子どもが少なくなり子ども千歳楽を出せない町内も出て来ています。子ども達の明るい笑い声は大人をも笑顔にしてくれ会話も弾みます。そんな中子ども達も参加できる行事の実施、高齢者や障がいのある方々に対し小地域ケア会議での困りごとの話し合い、サロンの運営支援として「ボランティアらんらん」のような助け合いの事業も実施しています。

これからも、世代を越えて多くの人が交流できる機会を提供し、互いに声をかけ、助け合える地域づくりをし「乙島に住んどって良かったなあ」と言える乙島小学校区にしたいものです。

なお、後を引き継いでくれる方々に乙島らしい温かみのある行事を計画し、実行して頂き、憩いの場としてのコミュニティハウスをしっかりと活用して頂ければ有難いと思います。

平成十年十月六日、乙島各種団体、各町内会会長、市議会議員で第一回設立準備会を持ち、以後十八回に及ぶ陳情を重ねました。そして市の補助金を受け、「コミュニティハウス」として平成十一年に完成を見る事ができました。この設立に当りご尽力頂いた諸先輩方、並びに乙島地区住民の方々のご理解・ご協力の賜物と感謝しております。

乙島には、他地区には無い伝統を守ってきた「乙島祭り」があり、地域交流の場が引き継がれています。しかし、少子高齢化が進み小



「高地町内会」のご紹介

高地町内会会長 小幡 久人

高地町内会は、乙島東部に位置し、会員世帯数二百軒を超える乙島地区でも世帯数の多い町内会です。

最近では、代々居住されている地区での高齢化が進む一方、新しく開発された地区では、若い年齢のご家庭が増え、各年齢層により、町内会に対する要望・対応も多岐にわたる様になりました。

そんな中、事業においては、乙島祭りの千歳楽巡行をはじめ、夏まつりを六年前に復活し隔年で開催、夏まつりを行わない年には、自主防災会による独自の防災訓練を行うなど、各世代が共に参加できる様な事業を通して親睦と交流を図っています。また、子ども会・老人会(高地永楽会)・青年団等も今尚、活発に活動を続けています。

三年前、市の認可地縁団体(法人格)を取得し、町内が維持・管理している土地等を町内会名義に移すことにより、公会堂等、施設の老朽化に伴う改修などに、すみやかな対応ができる様になりました。

しかしながら、約十五年前には二百五十軒近くあった会員世帯数が、現在では二百軒余りに減少し、町内会に未加入の新築世帯も増えています。

今後は、様々な事業を通し、町内会の意義・必要性をご理解いただき、未加入世帯の方々にも快く加入していただける様取り組んで参りたいと考えています。

温かい心に包まれて…

乙島小学校教頭 新谷 孝恵

4月に赴任して、8ヶ月が経とうとしています。今、私が感じるのは地域の方々の温かさです。乙島小学校は、本当にたくさんの方々に支えられています。子どもたちの登下校を見守ってくださる方、学校の玄関や校長室にお花を生けてくださる方、毎週水曜日に読み聞かせをしてくださる方、毎月1回花の植え替えや草取りをしてくださる方、その他にも多くの方々に支えられています。そして、すべての方が温かい心で子どもたちを思い、学校を思い、ボランティアとして支えて下さっています。先日、生け花ボランティアのある方からこんなお話を聞きました。「私は、ここにお花を生け始めて30年ほどになるんよ。朝、何となく元気がなく学校に来た子がお花を見て少しでも元気になればと思っていますんよ」と。この

お話を聞いたとき、私は心を打たれました。こんな思いでお花を生けてくださっていること、それも30年という長い年月続けられていることに驚き、本当に有り難く思いました。その他のボランティアの方もそれぞれに子どもたちを思ってくくださっていることに心から感謝しています。

また、乙島小学校区には、様々な地域の行事があり、それもまた地域の子もたちを支えて下さっています。私自身、いくつかの行事に参加させていただく中で、地域の方に温かい声をかけていただき本当に有り難く思っています。

子どもたちの素直な心は、この温かい地域で育まれてきたのだと思います。そして、これからはずっと地域の皆様に支えていただきながらすくすくと育ててほしいと思います。地域の方々の思いを少しでも子どもたちに伝え、「ありがとう」の気持ちをいつも持ちながら、いろいろなことにチャレンジしていく「乙島っ子」たちを育てていきたいと思っています。



生け花ボランティア

乙島小学校ボランティア 山本 勝敏

ボランティアとの最初の出会いは、当時2年生だった孫のクラスの子供達との芋植えからでした。以来、今日迄の十数年間続けられたのは、学校で子供達と接することが好きだと実感したからです。子供達と交わす挨拶の一言でどんなに勇気づけられたことか、感謝の気持ちで一杯です。

花には四季があり、それぞれの花によって色や匂も異なり、長所短所もあります。人間で言うならば、一人ひとりの性格や考え方の違い、そして人間関係の複雑さに通じるものがあると思います。

人生は、計画・実行・反省の三原則に基づき様々な経験を通じ、反省と修正を繰り返しながら成長していきます。最後になりましたが、皆様も一日一日を大切に健康に頑張ってください。

乙島ボランティアらんらんの運行について

事務局 瀧澤 厚志

平成29年7月4日から事業開始した「福祉無償運送事業乙島ボランティアらんらん」も令和の時代に入ってますます認知度を高めてまいりました。(といってもまだ僅か1年半ほどですが) というのも、地元玉島テレビ放送(株)が、これまで4回の特集番組を作って放送してくれました。地域密着ケーブルテレビの強みであり、2万世帯弱の契約のお宅へ「らんらん」の様子を流してもらったのですから、非常に心強い応援をいただきました。

そのためか利用登録者は、昨年を上回る63名になっています。乙島小学校区に住む住民が、高齢になっても、障がいのある身になっても安心して生活が送れることを念じてこの事業を開始しています。

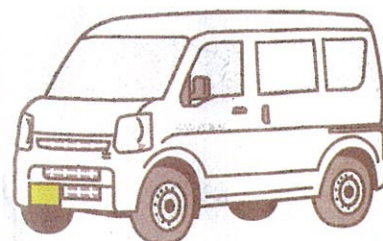
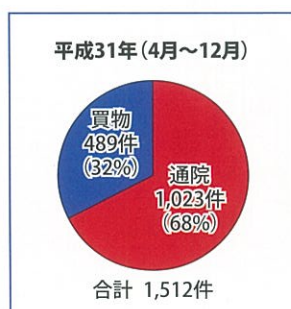
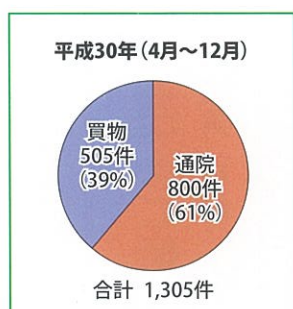
先日も備中県民局の方が視察に来られ、その時にインタビューに協力していただいた利用者は、軽い自損事故をきっかけに運転免許証を返納したそうです。昼間一人暮らしとなった今も、食事や家の切り盛りはまだ私の役割と張り切っておられるのですが、毎回の買い物にタクシーも使えない、病院にも行きたい、そんな時、コミュニティの役員さんからこのらんらんの話を聞いて使うようになったのですが、「運転手さんも優しいし安心して使わせてもらっています」と答えてくれています。

事業主体は、乙島地区社協とコミュニティ協議会です。事業にかかる経費の半額は倉敷市からの補助金で運営していますが、皆さんからの会費や寄付金も運営に充当させていただいております。ご希望の方は、お近くの民生委員、町内会長、愛育委員さんにお尋ねいただき、より多くの皆さんに利用していただきたいと思っています。



乙島ボランティアらんらんの利用状況

運行を始めて2年余り、乙島の地に着実に根つき、育っています。らんらんを使って暮らしをちょっと楽にしませんか？
まずはお問い合わせ下さい。



福祉無償運送「乙島VORらんらん」 利用会員募集のご案内

利用料：ガソリン代実費のみ

☆運行日程：週2日(火曜、金曜) 予約制

☆運行時間：8:00~18:00

【お問い合わせ先】

乙島小学校区社会福祉協議会 事務局 (担当 瀧澤厚志)

〒713-8102 倉敷市玉島2丁目23-31 電話 090-4692-3686

又は近くの民生委員まで

乙島小学校区の民生委員・児童委員が 昨年12月に新たに任命されました。



新任

土岐 和雄
トキ カズオ
担当区域-掘貴



赤沢 始
アカザワ ハジメ
担当区域-船堀・竹の
浦・鶴山ほか



新任

浅原美智子
アサハラ ミチコ
担当区域-高地・サン
ヒルス乙島



新任

猪木美知子
イノキ ミチコ
担当区域-大平・大平
山・亀の首・バセオタ
ウン



中原 富江
ナカハラ トミエ
担当区域-中電社宅・
畑・城・岡の辻



樋口 洋子
ヒグチ ヨコ
担当区域-泉谷・中山・
中央ハイツ



藤原 和美
フジワラ カズミ
担当区域-北泉・野浦
田・オの谷



新任

板野 敏夫
イノ トシオ
担当区域-前新田・
東新田・松前・渡里



新任

江尻 澄子
エヅリ スミコ
担当区域-川崎・埋立



後藤 保美
ゴトウ ヤミ
担当区域-玉島1・2
丁目・天神ハイツ・
東ハイツ・山神町ほか



光岡 珠美
ミツカ タマミ
担当区域-乙島小学校区
主任児童委員

困りごと・悩みごと
などをお気軽に相談し
て下さい。
皆さん、気さくな人
ばかりですよ!!

私にとっての防災とは

天神ハイツ 信里 泰子

私には身体にハンディがあります。だから災害に遇った時、一人での避難は到底無理です。今は夫がいますが、夫以外にもなたかにお手伝いしていただく必要があります。

更に、ハンディがある分、色々所持して避難しなければなりません。

真備地区被災者の話をはじめ、防災の様々な話を聞くにつけ「自分の命は自分で守る」という結論に至ります。

ではどうやって？医療用品も含めて2週間分は何かか少しづつ身近に用意し、分かりやすく分類してまとめつつあります。とはいえ、いざ災害の時、皆さん一人ひとり大変な事態になっています。他へ手助けできる余裕があるでしょうか？「迷惑がかかる」「申し訳ない」と思うと二の足を踏みます。我が家や、近くの安全な場所を事前に確認して、できるだけ自分で早目に何とか行動に移そうと思っています。

防災・避難を考える時「不安な気持ちと」「頑張らなければ！という気持ち」が交錯します。

最後にはやはり人と人とのつながりが一番大切だと思います。常日頃のご近所とのお付き合いあつての防災、避難だと思っています。それこそ「自分の命は自分で守る」という事ではないでしょうか。

“乙島の宝”敬老の日に寄せて

民生委員 赤沢 始

9月8日、各町内の会長さんから推薦を受けたお元気な高齢者43名が、敬老会に出席されました。年長者から順に横綱4名・大関4名・関脇6名・小結7名と番付され、計21名の方に認定書と記念品が渡されました。

最年長である99歳の原田力さんと原田カオルさんには、名誉横綱の認定書が渡され、まさに“乙島の宝”です。

その後ボランティアによる「大江戸南京玉すだれ」と、いずみ乙島保育園年長組による「よさこい踊り」が披露され、会場は笑顔につまれました。

現在乙島地区の75歳以上は、1,000人余りです。高齢化の進む今、本日の参加者のように地域の中で元気に生活したいものです。

私も民生委員として、声かけや訪問をしつつ、お年寄りに寄り添い、少しでも地域のお役に立てればと思っています。



親子ふれあいの会に参加して

乙島小学校四年 あさ原 美さき

コミュニティのそうめんながしは、毎年夏休み最初の楽しみです。今年も子ども会で参加しました。最初に竹でうつわとはしを作りました。今年はとても上手く作れました。

早くそうめんが食べたくて、かき氷をがまんして一番にならびました。ミニトマトがうまくつかめなくて2個しか食べられませんでした。そうめんはたくさん食べることができました。つめたくとてもおいしかったです。かき氷やわたあめを友達と食べて、バルーンで遊んだ後、もう1回、そうめんながしを楽しみました。

お母さんが「また、食べたの？」とビックリしていました。また来年も参加しようと思います。



令和元年度事業報告

乙島小学校区コミュニティ協議会と地区社会福祉協議会として、乙島地域の住民の皆さんが楽しく、親睦と世代を超えたふれあいが持てるよう、以下の事業を実施しました。

実施月	日	事業名	内容
5月	19	総会	令和元年度総会と「西日本豪雨災害倉敷市真備町の現実と課題」と題して、菌小学校長高津智子先生を招いて講演を聞いた。
6月	16	第16回乙島じゃく獲り大会	乙島の伝統漁法を使って、約130人の参加者が数を競い合い、終了後には全員で乙島じゃくのから揚げを頂き大満足でした。
7月	7	コミュニティハウス大掃除	コミュニティハウスを利用する各種団体から大勢の参加を得て、一斉大掃除を行った。
	28	親子ふれあいの会	夏休み恒例の流しソーメンを親子で作った器と箸を使っておいしく食べた。室内ではバルーンアートの作成で盛り上がった。屋内外では400人を超える参加者で溢れた。
	28	防災会議	9月実施の倉敷市総合防災訓練に合わせて乙島小学校区自主防災組織連絡会（コミュニティ協議会）が防災訓練を実施することを確認した。
9月	8	第13回敬老会	乙島各町内の高齢者の参加をいただき、長寿番付認定書の交付と記念品を参加者に贈呈した。
	22	乙島小学校区防災訓練	台風17号接近により、倉敷市総合防災訓練の中止が決定し、乙島小学校区の防災訓練も中止した。
10月	6	第19回体育祭	晴天の秋空のもと、ふれあいを中心とした新種目競技も入れて約230人の参加者で楽しんだ。
	17	ミ二健康展	愛育委員会を中心に「健康」をテーマに各種イベントを実施した。
	26 27	乙島祭り	伝統の祭りを支えるために、各町内会が地域の清掃活動を行った。
11月	10	第17回ふれあいウオーク	今年は歴史探訪ふれあいウオーク北コースを歩いた。約100人の参加者は天候にも恵まれ素晴らしい乙島を満喫した。
	24	第4回三世代ふれあいグランドゴルフ大会	今年は天候に恵まれ汗ばむような中で実施できた。約80名の参加者で高齢者も子どもも大きな笑い声の中で大会を楽しむことができた。
12月	15	注連縄（しめなわ）作り	乙島小学校児童生徒と一緒に伝承活動の一端として注連縄作りの指導を受けた。
1月	15	とんど焼き	毎年幼稚園児の参加を得て、にぎやかにとんど焼きを実施した。
2月	2	コミュニティ文化祭	乙島地域の書画、陶芸作品、小学生の書きぞめの展示、焼き芋づくり、餅つきをした。
	16	自主防災会	各自主防災会、町内会から参加者を募り真備の被災状況に合わせたタイムラインを行い、防災意識高揚を図った。
3月	22	男の料理教室	男性役員が女性役員の指導を受けながら料理教室を開催した。

「乙島祭り」を 市民講座で紹介

乙島祭り保存会副会長 原田 英一

令和元年九月七日、倉敷市民講座として、岡山県重要無形民俗文化財である児島の鴻八幡宮の「しやぎり」と、「乙島祭り」を紹介する機会を得ました。映像を用いての紹介と、乙島祭りの特徴の発表を柱としました。十二台の大場物（御船・千歳楽・だんじり）が一七〇余段の階段を担ぎ上げ、境内を所狭しと練り上げ、「さした」をする様子は、勇壮且つ絢爛豪華なものです。紹介内容は次の点です。

各町内の大場物は観音寺や新居浜で製作されたものが大半で、それぞれの歴史を持っており、宝物として自慢であること。

御神輿は弘化二年（一八四五年）京都で製作され購入したもので、その代金一五四両は現在の価格に換算



すると約五四〇〇万円であること。

また、その日千歳楽を会場に展示し、渡里町内の唄の名手に「伊勢唄」を歌ってもらい、太鼓・拍子木に合わせて「さした」をする場面を再現しました。

今回の講座を聴いてくださった方に、一人でも多く乙島祭りを見ていただければと期待しております。

郷土の誇れる乙島祭りとして、皆様のご協力とご支援のもと、未来へ伝承されて行くよう活動していきます。

おかしんがい 乙島岡新開と 守屋家三代の苦闘(その一)

郷土史家 大島 崇雄

代々乙島村の庄屋を務めていた守屋重左衛門が寛政年間（一七八九

一八〇〇）に新田開発を自論んだが病死し、彦右衛門（のちに重左衛門と改名）が父の遺志を引き継ぎ、文化七年（一八一〇）倉敷代官所へ新田開発願書を提出した。文

化十二年（一八一五）上成村庄屋の貞助と共に願書を提出した。文政

九年（一八二六）幕府勘定奉行所役人の見分が行われ、新田開発の許可が下された。新開反別二〇町

歩、地代銀一貫二〇〇目（一〇ヶ年賦）、鉄下年季は、一五町歩は三ヶ

年、一〇町歩は五ヶ年、九五町歩は一〇ヶ年と計画していたが、嘉永二

年（一八四九）重左衛門が病死し、勝太郎が父の遺志を引き継いだ。幾多の困難を乗り越えて、慶応三年（一八六七）に締切堤防が完成し、明

治五年（一八七二）検地が実施され、約八〇年の歳月を費やして守屋家三代の悲願であった乙島岡新開が完成し、乙島開発の礎を築いた。のちに住民の有志により、カノ割公園内に守屋庄屋遺徳顕彰碑が建立された。次回は、乙島岡新開に関する苦闘について述べたい。

編集後記

本紙にもグラフですが、乙島小学校区の少子高齢化が進んでおり、町内によっては空家が目立ち、小学生が一人もない町内もあります。

子ども会を中心とした地域の繋がりが希薄になった今、協議会は各サークル活動・文化祭・ボランティアらんの運行などを行って来ましたが、他にも乙島をもっと活性化する取組み方法があると思います。

平成から令和へ元号が変わり、乙島の歴史も地域も、それに見合った変化・発展を必要とされる現在、パソコン・スマホなどデジタル時代に育った子ども達が順次、新しい価値感を持って、大人の仲間入りをしていきます。

そうした若い皆さんから、知恵やご意見をいただき「子どもを育てやすい乙島・誰もがお互いに助け合えるような乙島・住み続けたい乙島」にして行けるよう、この「乙島っ子」がその一助になればと思います。

編集委員

- 原田 謙一
- 川田 吉子
- 吉田 明弘
- 赤沢 始
- 川田 茂弘

原田 謙一